

やまぐちっ子学力向上だより

第123号 R5.2.2

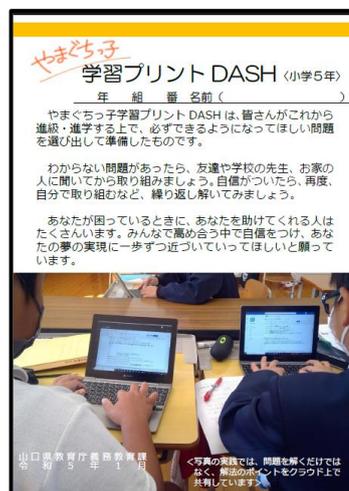
山口県教育庁義務教育課

~ 誰一人取り残すことのない個別最適な学びの実現へ「DASH」 ~

子どもたちに学ぶ力をつけることが、学校の使命です。年度末は、全ての子どもたちが安心して新年度を迎えることができるよう、浮かび上がってきた学力課題を確実に解決する大切な時期になります。

義務教育課では、今年度も、これまでの調査等で見えてきた課題を精選した問題集「やまぐちっ子学習プリントDASH」を作成しました。プリントのデータは、1月末に各学校にお届けしましたので、効果的に活用していただくようお願いします。

課題を解決するためには、課題の中身を的確に捉え、教科の特性等に応じた適切な指導が不可欠です。3回に分けて具体的な指導のポイントを紹介しますので、参考にしてください。



自分の考えを表現する力を伸ばすために

第1回 (全3回) 国語科の指導のポイント「DASH」

◆ 条件に沿って文章を記述することが苦手な子どもへの指導

皆さんの指導する子どもの中に、条件に沿って文章を記述することが苦手な子どもはどれくらいいるでしょうか。子どもは、何に困り感をもっているのでしょうか。

- ①「表現する内容」(例:「〇〇について書きましょう」)
- ②「表現の仕方」(例:「〇〇という言葉を使って、〇字以内で書きましょう」)

調査問題の誤答を分析した結果、①「表現する内容」に対して、適切に答えられなかった子どもが多くいたことが分かりました。「表現の仕方」の指導だけでは不十分で、**表現する目的が必要不可欠**なのです。指導の際は、目的を意識しながら「表現する内容」を見付けることができるようにするとよいです。

例)



「〇〇小学校に行ってみたい」と思ってもらうためには、どのようなことを伝えとよいのでしょうか。

(_____ 部が表現する目的)

仲のよさや校庭の美しい自然のことを伝えると、「行ってみたい」という気持ちになると思います。



このことを踏まえ、小学校国語のやまぐちっ子学習プリントに設定されている「目的」や「条件」を見直し改訂しました。右のQRコードから、「自分の考えを表現する力を伸ばすために」というプリントをダウンロードしてご活用ください。



「文章で答える問題が苦手…」と感じている子どもが自信をもてるように支援していくことが、わたしたち教師の役目です。

第2回 (全3回) は英語科の指導のポイント「DASH」です。